

研修コース名	(和文) アフリカ地域 市場志向型農業振興 (普及員)
	(英文) Market-oriented Agriculture Promotion for Extension Officer in Africa
研修期間	事前プログラム 2024年2月13日～2024年3月9日 (遠隔) 本邦プログラム 2024年3月10日～2024年9月27日 (来日) 事後プログラム 2024年9月28日～2024年12月13日 (遠隔)
使用言語	英語
参加国 (今季)	ボツワナ、エチオピア、ガーナ、レソト、マラウイ、ナミビア、ナイジェリア、ウガンダ、タンザニア、ジンバブエ、南スーダンから11名参加
案件目標	本邦で学んだ市場志向型農業、野菜栽培技術、流通・販売方法および普及手法が帰国報告会等を通じて所属組織・担当地域内で共有される。
研修概要	本コースでは、小規模農家が作物を「作ってから売る」のではなく、「売るために作る」というケニアで成果をあげている手法や考え方 (SHEPアプローチ)、市場志向型農業の基本的な考え方について学びます。また、市場ニーズに対応した野菜栽培技術、流通・販売方法および普及手法について、講義や視察に加え、演習や圃場実習も取り入れ、帰国後活動を見据えながら実践的に学びます。
SDGs 等への貢献	◎SDGs ゴール2 飢餓・食料安全保障・栄養・農業のうちでも特に「生産性を向上させ、生産量を増やす」目標に貢献します。



日本の市場、流通の仕組みを学びます



圃場実習を中心に実践的技術を学びます



マーケティング戦略について議論します。



野菜の養分欠乏について養液栽培を通して学びます。